



スポーツで障害者の社会参加を促進

第56回 多久市障害者スポーツ大会

6 / 9 [Sun]



▲各チーム、見事なチームワークでスポーツを楽しみました

障害のある人の積極的な社会参加と健康増進や親睦を目的に、第56回多久市障害者スポーツ大会（主催：多久市、多久市社会福祉協議会、多久市身体障害者福祉協会、多久市手をつなぐ育成会、しみず園）を北多久社会体育館で開催しました。大会には、市内7つの事業所と団体から、210人が参加。出場者は、輪投げリレーや風船割り競争など、16競技に汗を流し、会場は熱い声援で盛り上がりました。優勝は「身体障害者福祉協会・多久作業所チーム」が2連覇。参加者は「いろんな団体の人たちと一緒にスポーツをするのは楽しい」と喜んでいました。

個性あふれるお店が大集合！

あいぱれっとまるしえ

6 / 9 [Sun]

“あいぱれっとまるしえ”（主催：中村まゆみ（あず☆sun））が、多久市まちづくり交流センター「あいぱれっと」で開催されました。

今回は、薬膳茶のワークショップや食・住・身体をテーマにしたハンドメイド雑貨、身体のケア、グルメ、占いなど、計35店が並び、子どもからお年寄りまで大勢の来場者で賑わっていました。屋外では、軽トラ市も同時開催。来場者からは「雑貨やアクセサリが可愛くて迷ってしまいます。いつも楽しみに来ます」との声が聞かれ、買い物や体験を楽しんでいました。



▲可愛い小物や雑貨が会場に所狭しと並びました

夏の佐賀大会へ弾み

多久高校野球部 9年ぶりの快挙！

6 / 7 [Fri]~11 [Tue]



▲優勝の笑顔が光る多久高校野球部のみなさん

「第110回佐賀県西北部地区高等学校野球大会」が、伊万里市国見台などで開催され、多久高校野球部が見事9年ぶりの優勝に輝きました。この大会は、県内の15校が参加し、トーナメント方式で競われるもので、4日間の日程で熱戦が繰り広げられました。

監督の西村秀範にしむら ひでのりさんは「準決勝の早稲田佐賀高校と延長10回タイブレーク方式で勝てたことが大きかった。大会では良く守り抜きました。優勝した自信を引っ提げて、夏の佐賀大会に挑戦したいです」と話しました。甲子園の切符を賭けた夏の佐賀大会も間近。多久高校野球部の活躍を期待します。